



給食センター

施設の改修により施設の長寿命化および給食作業場の環境整備が充実したことで、これまで以上に安全・安心な給食が提供できるようになりました。



きほう健康ぷらざ

保健・医療の新拠点として「訪問看護ステーション」、「総合健康窓口」、「地域医療研修センター」、などを備えています。

きほう健康ぷらざ
町民のみなさまの健康づくりや生活習慣病の予防など、健康増進を図ることを目的といたしまして、昨年11月に開設いたしました「きほう健康ぷらざ」をその活動拠点とし、乳幼児から高齢者までの

このほか、防災アプリを導入し、多言語にも対応可能な防災情報システムの改修、住宅の耐震診断や耐震補強工事をはじめ、要支援者宅の家具固定、火災警報器・家具固定用器具や感震ブレーカーの購入補助、耐震シェルターの設置補助、津波避難路ブロック塀等除却改修補助についても引き続き支援を行い、あらゆる災害から町民の命を守ることを最優先に取り組んでまいります。

ワ一的整備につきましては、令和6年度に鶴殿地区2基、井田地区1基の整備を進めており、令和7年度におきましては、鶴殿地区（3組）への整備を進めてまいります。

また、新規事業として「高輝度蓄光式の避難誘導看板」の設置、継続事業として「蓄電池式避難誘導灯」の整備を進めてまいります。

町民のみなさまの健康づくりや生活習慣病の予防など、健康増進を図ることを目的といたしまして、昨年11月に開設いたしました「きほう健康ぷらざ」をその活動拠点とし、乳幼児から高齢者までの

障がい者グループホーム

保護者や関係団体とのみなさまから早期整備を切望されており、

「移住定住相談窓口」も常設し、「在宅医療の充実」、「健康相談の強化」、「健康教育の推進」を目標に、町民同士で健康を支えあい、健康についてともに学び、実践できる場として町民のみなさまに活用していただける施設としての機能をより一層強化してまいります。

あらゆる健康問題に対して、柔軟に対応できる体制づくりのさらなる強化を図ってまいります。

令和8年4月からの事業開始を目的に準備が進められており、町におきましても社会福祉施設等施設整備の国庫補助にかかる協議・調整、事業用地の確保、および町独自の補助制度の創設等を行っており、現在、早期整備に向けて積極的な支援を行っており、引き続きすべての町民のみなさまが住み慣れた町で安心して生活できるまちづくりを目指してまいります。

給食費の無償化・給食センター

令和4年度から実施しております保育所、幼稚園、小・中学校等の「給食費の無償化」および令和5年度から実施しております「保育料等の第2子以降無償化」に

つきましては、昨今の物価高騰や社会情勢を考慮して、令和7年度におきましても継続し、子育て支援の一助としてまいります。

また、令和6年度に「紀宝町給食センター」の大規模改修を行いましたことから、これまで以上に安全・安心で栄養バランスのとれたおいしい給食を安定的に提供してまいります。

町有地の造成
移住定住の促進・地域の活性化を図るため、鶴殿上野平

放課後児童クラブ

放課後児童クラブにおける業務のICT化を推進するため、「放課後児童クラブ業務支援システム」を導入し、児童の入退室管理、アプリによる欠席連絡、お知らせ一斉配信など、保護者がアプリ機能を活用し、確実な連絡手段の確保や都合のよい時間に連絡することができるとして、保護者の負担軽減および支援員の業務軽減につなげるとともに学童保育の質の向上を目指してまいります。

現在、国民健康保険にご加入の方で新宮市内の一部医療機関を利用した場合の窓口負担の無償化につきましては、対象年齢を未就学児までとして実施しておりますが、本年9月からは対象年齢を18歳到達年度末までに拡充し、子育て世代等の負担軽減と福祉の増進を図ってまいります。

福祉医療費助成制度

子ども・障がい者・ひとり親家庭等への福祉医療費助成であります。

現在、国民健康保険にご加入の方で新宮市内の一部医療機関を利用した場合の窓口負担の無償化につきましては、対象年齢を未就学児までとして実施しておりますが、本年9月からは対象年齢を18歳到達年度末までに拡充し、子育て世代等の負担軽減と福祉の増進を図ってまいります。

子ども・障がい者・ひとり親家庭等への福祉医療費助成であります。



※この所信表明は、令和7年2月26日開催の第1回町議会定例会での、令和7年大綱説明を紹介しています。



町政の基本方針と施策の大綱

町制20周年
平成18年1月10日に現在の紀宝町が発足してから、来年1月10日で20周年を迎えます。合併前のそれぞれの町、村におきまして、先人の方々の心血を注いだ懸命のご努力により、特色を生かした魅力あるすばらしい「まちづくり」が展開されてまいりました。合併後は、それらを引き継ぎながら、「海・山・川の恵みに抱かれ、ともに輝き創造するまち」の実現を目指して、新たな「まちづくり」を進めてまいりました。

新町が誕生して20周年を迎えるにあたり、来年1月11日(日)に、「町制施行20周年記念式典」をまなびの郷において挙行いたします。

町民のみなさま方と、ともに祝い、ともに未来に向けてのまちづくりを推進していく機運をさらに高めてまいりたいと考えております。

また、20周年を記念して町勢要覧の刷新を予定しており、町の概要や特徴、観光名所、まちづくりの取り

組みなどを紹介するほか、新町が誕生してから今日に至るまでの紀宝町の歩みを丁寧伝えてまいりたいと考えております。

現在、町民のみなさまから町内で撮影した写真の募集を行っており、これらの写真も活用し、製作にご参加いただきながら作成を進め、完成した際には、全戸配布させていただきますほか、紀宝町のPRに幅広く活用してまいります。

防災・減災対策

令和7年度におきましても、引き続き、「誇りと愛着の持てる魅力あるまちづくり」を目指し、紀宝町に「住んでみたい」「住んでよかった」とさらに実感していただくため、各施策を着実に進めてまいります。

はじめに、「人の命が一番」を基本理念といたしまして、様々な防災・減災対策を講じてまいります。

まず、南海トラフ地震の備えといたしまして、避難タ